

奈良県感染症情報

平成 27 年 第 11 週(3 月 9 日～ 3 月 15 日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<http://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	感染性胃腸炎	7.18	(6.56)	↗	→	↑	→
2	インフルエンザ	4.02	(3.02)	↘	↘	→	↘
3	A群溶連菌咽頭炎	1.85	(1.56)	↗	↑	→	↗
4	手足口病	0.76	(1.06)	↗	↘	↑	↘
5	突発性発しん	0.56	(0.38)	↗	↗	→	↑↑

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**→横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況 ◆

感染性胃腸炎が県内全域で増えてきています。中でも中和保健所管内の定点当たりの報告数が目立ち、患者年齢は1歳から3歳の報告が多いです。予防のために食事の前やトイレの後などにこまめに手を洗いましょう。

A群溶血性レンサ菌咽頭炎(A群溶連菌咽頭炎)は例年よりも高いレベルでの報告が北部地域を中心に続いています。A群溶連菌は咳やくしゃみなどで近くの人に感染(飛沫感染)します。予防のためにはよく手を洗うことが大切です。また、有効な抗生物質による治療を始めてから、周囲の人を感染させる力がなくなるまで24時間かかることとされていることから、抗生物質による治療を始めてから少なくとも24時間経過するまでは、仕事や学校を休み外出を控えた方がよいでしょう。

手足口病は引き続き例年よりも高いレベルで推移しています。手洗いやうがい等の感染症予防を心がけて下さい。

～ 3 月中に母子手帳のご確認を !! ～

4 月から小学校に入学するお子さんをお持ちの方へ

1歳のときに1回目の**風しん麻しん混合ワクチン(MRワクチン)**の接種は済んでいるかと思いますが、これだけでは効果が不十分なことがあるため、**小学校入学の前年(幼稚園や保育園の年長クラス)の1年間に2回目の接種をします。**

万一、この1年間に接種しなかった場合は定期接種の扱いとならず、接種費用も自己負担となりますが、できるだけ早く(遅くとも夏休み前までに)2回目を受けることが大切です。

公費で受けられるのは3月いっぱいまでです。

3 歳、4 歳のお子さんをお持ちの方へ

2014年10月から**水痘ワクチンが定期接種**になり、1-2歳児は公費で受けられます。また、経過措置として、**2015年3月末までは、3、4歳のお子さんにも1回目に限り公費で受けられます。**(既に水痘に罹患したことがある方や既に水痘ワクチンの接種を受けたことがある方は、接種対象外となります。)

受け忘れはありませんか?もう一度確認してみてください。

定期接種を受けることができる医療機関に関してはお住まいの市町村にご相談下さい。



❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

平成 27 年 第 11 週 3 月 9 日 ~ 15 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部	
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	内吉野	吉野		
インフルエンザ定点数	54	11	16	11	11	2	3	
インフルエンザ	217	32	66	38	67	5	9	
	(4.02)	(2.91)	(4.13)	(3.45)	(6.09)	(2.50)	(3.00)	
小児科定点数	34	7	10	7	7	1	2	
RSウイルス感染症	15	7	5	1	2			
	(0.44)	(1.00)	(0.50)	(0.14)	(0.29)			
咽頭結膜熱	8	1	2	2	2		1	
	(0.24)	(0.14)	(0.20)	(0.29)	(0.29)		(0.50)	
A群溶連菌咽頭炎	63	14	33	5	7		4	
	(1.85)	(2.00)	(3.30)	(0.71)	(1.00)		(2.00)	
感染性胃腸炎	244	43	67	41	84	5	4	
	(7.18)	(6.14)	(6.70)	(5.86)	(12.00)	(5.00)	(2.00)	
水痘	10		8	1	1			
	(0.29)		(0.80)	(0.14)	(0.14)			
手足口病	26		8	13	4		1	
	(0.76)		(0.80)	(1.86)	(0.57)		(0.50)	
伝染性紅斑	7	1	5	1				
	(0.21)	(0.14)	(0.50)	(0.14)				
突発性発しん	19	10	3	3	1	2		
	(0.56)	(1.43)	(0.30)	(0.43)	(0.14)	(2.00)		
百日咳								
ヘルパンギーナ								
流行性耳下腺炎	5		2		1		2	
	(0.15)		(0.20)		(0.14)		(1.00)	
眼科定点数	9	1	3	2	2	0	1	
急性出血性結膜炎							-	
流行性角結膜炎	1			1			-	
	(0.11)			(0.50)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	0	
細菌性髄膜炎	1						1	-
	(0.17)						(1.00)	
無菌性髄膜炎								-
マイコプラズマ肺炎	1				1			-
	(0.17)				(1.00)			
クラミジア肺炎								-
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	5		1	1	3			-
	(0.83)		(0.50)	(1.00)	(3.00)			

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核2件(奈良市2)
3類感染症	細菌性赤痢1件(奈良市1)
4類感染症	レジオネラ症1件(郡山1)
5類感染症	

❖ 第11週のトピックス ❖

狂犬病について(厚生労働省HP)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou10/>

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。
旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

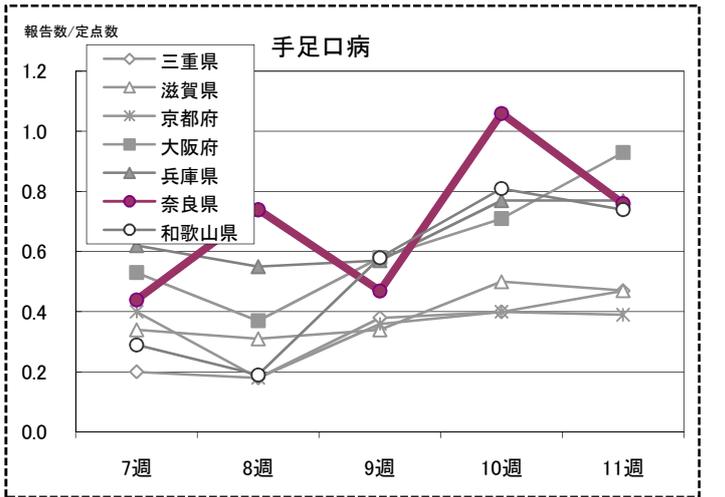
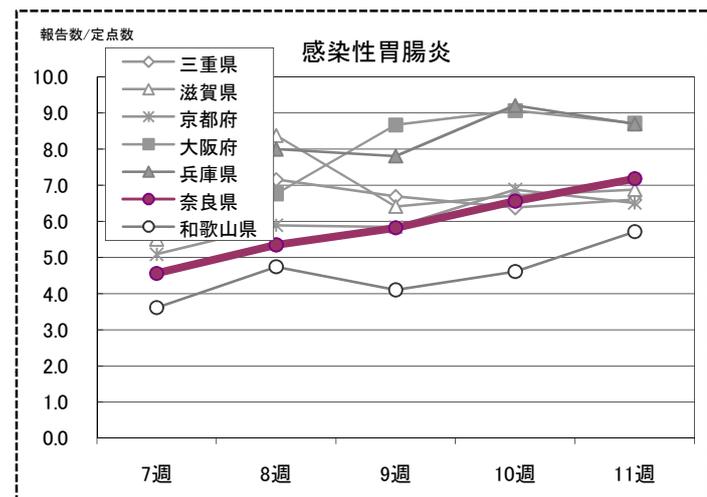
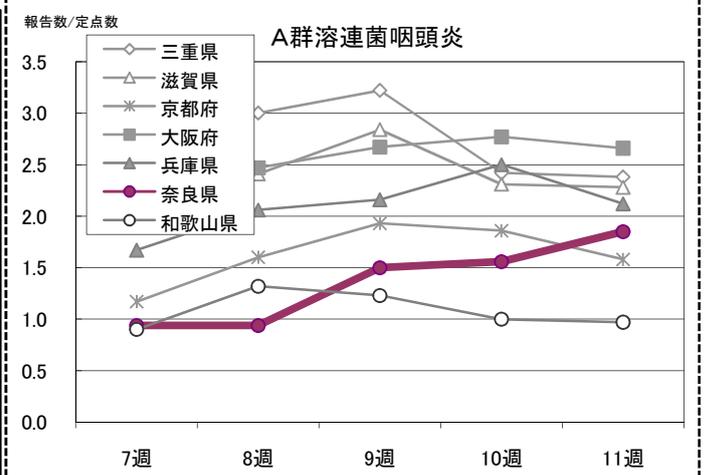
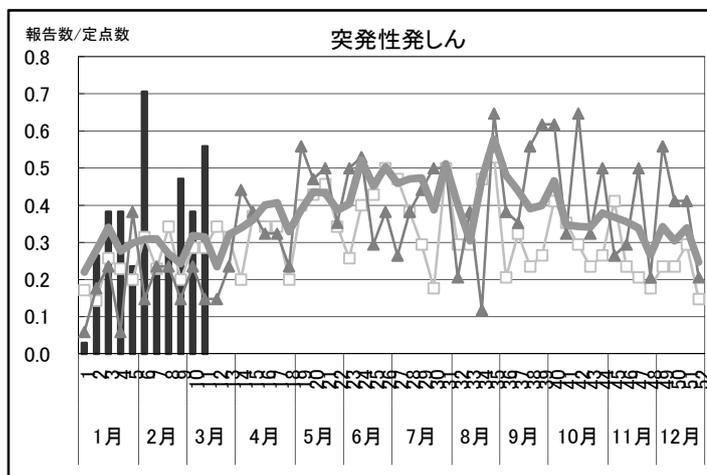
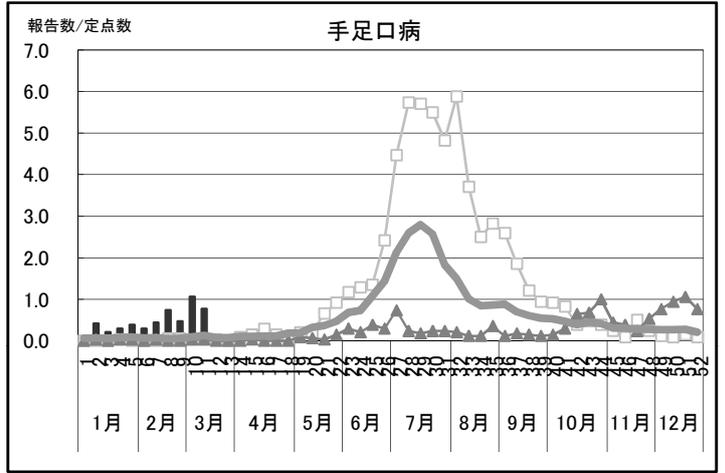
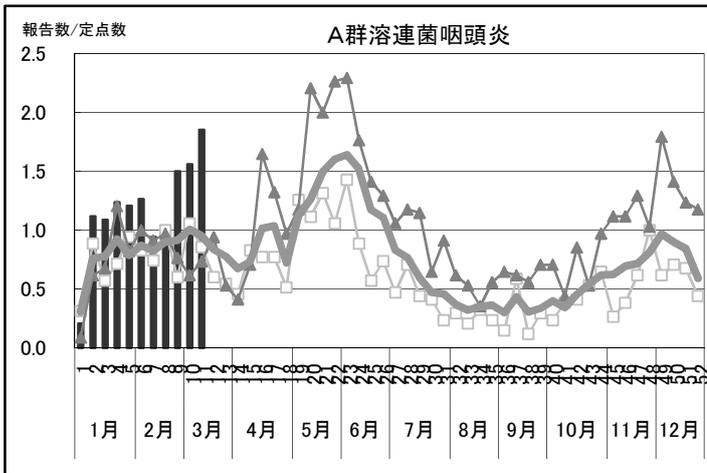
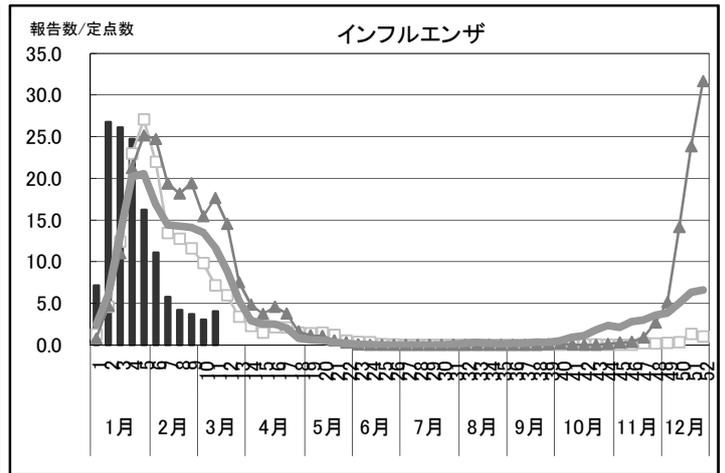
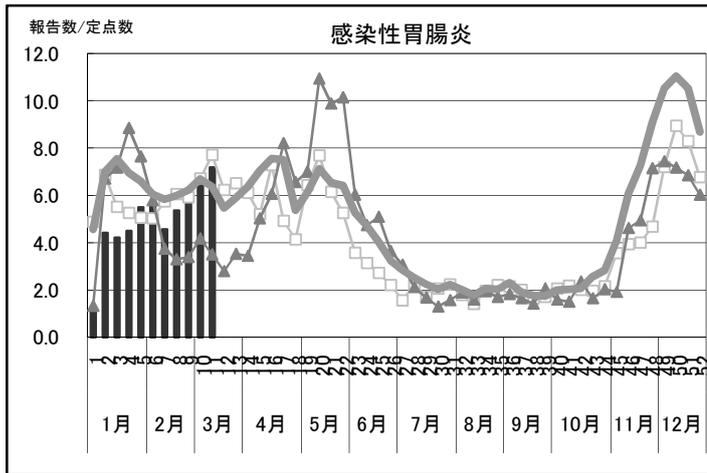
上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計
インフルエンザ	男		1	3	5	2	4	5	5	18	11	14	28	5	2	1	5	2	7			118	3568
	女		1	3	2	1	5	6	2	9	10	4	18	6	3	7	6	6	8	2		99	3596
RSウイルス感染症	男	2	4	1	1																	8	162
	女	2	2		2	1																7	157
咽頭結膜熱	男			1	1	1																3	50
	女			1	3	1																5	26
A群溶連菌咽頭炎	男			1	3	7	5	3	3	5	2	2										33	243
	女			2	4	5	3	5	3	4	1	2			1							30	196
感染性胃腸炎	男		7	20	15	22	11	10	9	4	5	4	9	1	9							126	969
	女		5	16	18	9	12	9	5	3	6	1	15	2	17							118	902
水痘	男					2	1					1										5	81
	女					3		1	1				1									5	78
手足口病	男			6	4	1	3															14	93
	女		1	5	3		2	1														12	81
伝染性紅斑	男						1		2	1												4	26
	女			1					2													3	22
突発性発しん	男		4	4	1																	9	66
	女		4	6																		10	67
百日咳	男																						1
ヘルパンギーナ	男																						1
流行性耳下腺炎	男						1	1	1			1										4	30
	女																					1	35
急性出血性結膜炎	男																						
	女																						
流行性角結膜炎	男																				1	1	17
	女																						18
細菌性髄膜炎	男		1																			1	1
	女																						2
無菌性髄膜炎	男																						1
	女																						
マイコプラズマ肺炎	男																					1	2
	女															1							5
クラミジア肺炎	男																						
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男		2	1																		3	15
	女		2																			2	10

❖ 注目疾患の動向 ❖ 全て定点当たり報告数

■ H27 ▲ H26 □ H25 〰 過去10年平均



春先の感染性胃腸炎にご注意を

下痢・嘔吐を起こす冬季のノロウイルスが有名ですが、それ以外にも、サポウイルスなどもあります。また、この時期になると増えてくるロタウイルスもあります。今回はこれらについて、ご紹介します。



ノロウイルス

例年11月から増加してくる感染性胃腸炎は、多くがノロウイルスによるものです。インフルエンザがはやってくると、一旦患者数は減少しますが、インフルエンザが治まると、ふたたび増加する傾向があります。ノロウイルスは変化しやすく、大きく変化したときには、大流行を起こすようです。ワクチンはありません。

サポウイルス

ノロウイルスと似た症状を起こすウイルスで、ノロウイルスとは親戚のような関係です。大流行を起こすわけではありませんが、保育園・小学校や老人福祉施設での集団感染性胃腸炎や食中毒の原因になることがあります。なお、名称の「サポ」は、最初に発見された北海道の札幌（さっぽろ）に由来しています。ノロウイルスと同じくワクチンはありません。



ロタウイルス

ロタウイルスは主に乳幼児が感染する胃腸炎の代表的なもので、便の色がクリーム色のように薄くなる事があります。初めてかかったときがいちばん症状が重く、水のような下痢、嘔吐等の症状が続きます。

平成23年からワクチン接種が始まりました。初回は生後2ヶ月くらいから3ヶ月半くらいまでに接種（飲むワクチン）します。あとは4週間の間隔で合計2～3回接種します。ワクチン接種することで、入院に至るような重症化を防ぐことから、接種する方も増えてきています。ワクチンに関しては、医療機関にご相談ください。

~どのウイルスも~

- ✓ 抗ウイルス薬はありません。対処療法（脱水予防）等になります。
- ✓ 患者の便や嘔吐物には、多量のウイルスが排泄されています。また、治った後もしばらくは、便中のウイルスは多いためです。トイレから出るときはしっかりと手を洗うようにします。
- ✓ 排泄物を処理するときは、手袋・マスクをして、乾燥しないように（飛び散らないように）取り扱います。
- ✓ 汚れた手で触った場所が汚染され、それを別の人が触ることで、感染が広がります。こまめな手洗いは重要です。
- ✓ 消毒には、次亜塩素酸ナトリウム（漂白剤）を薄めて使います。使用用途・製品により濃度が違いますので、正しく計りましょう。（↓2ページ目の中段を参考に）

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/iyaku/syoku-anzen/iken/dl/140304-s.pdf>